

## 第4回小中学校プールのあり方検討会議記録

日 時：2024年1月22日（月）午後6時から6時34分

場 所：市役所東庁舎3階理事者控室

出席者：別紙名簿 傍聴1人

内 容：座長は新井東中学校校長

### 1. 提言案について

《中村学校教育課長より説明》

- ・「はじめに」の中で、検討会議の目的を記した。
- ・「小中学校プールの設置状況」の中で、小学校プールは11校中9校が設置から40年以上経過し、内4校は50年を超えていることを記した。また児童数が減っている豊丘小学校のプール施設については、多額の費用がかかる修繕や設備の更新を見送り、2023年度は校外プールを利用して水泳授業を行ったことを記した。
- ・「小中学校児童整数の推移予想」の中で、現在児童数が一番少ない豊丘小学校でも33年前は児童数が254人で、小学校11校中9校が300人を超え、中学校は全校が400人を超えていたことを記した。現在は児童が約45%減、生徒が約52%減し、6年後の予想では、最も少ない豊丘小学校の児童数が35人であることを記した。
- ・「小中学校プールの維持管理経費」の中で、多額の費用が必要となる工事は20年周期で実施していることから、20年間の維持管理経費を、小学校1校で約5,000万円、中学校1校で約4,700万円と試算したことを記した。
- ・「小中学校プールの課題」の中で、現在の年間活動期間が、かつての3分の1の約1カ月であること、児童生徒数の減少に伴い教員数も減少し、教員の負担が増えていること、児童生徒数が減少していることで一人当たりの維持管理経費が増えていること記した。
- ・「2023年度の豊丘小学校水泳授業」の中で、アンケート結果をもとに、校外プールでの水泳授業について高評価を得たこと、試験的に導入した外部インストラクターについても高評価を得たことを記した。
- ・「提言」については、前回の検討会議で指摘を受けたところを修正した。
- ・「資料」については、これまでの検討会議に提出した資料を載せた。

《質問・意見》

委員：プールの設置状況の中に、支援学校では須坂小学校のプールを使っていることを記した方がいい。

中村：支援学校の水泳授業の現状について記したい。

中村：文末が「文切切調」と「ですます調」が混在している。統一した方が良いか。

委員：統一した方が良い。

中村：では「ですます調」で統一する。

委員：他に意見は無いか。

委員：(特になし)

## 2. 今後の予定について

《中村学校教育課長より説明》

⇒いただいた意見について、事務局の方で責任校正する。責任校正したものを最終的な提言書として皆さんにお送りする。会議としてはこれが最後になる。

いただいた提言書を尊重して市としての方針を定める。

委員：新年度の豊丘小の水泳授業はどのような予定か。

中村：当初予算次第になるが、6月は高甫小学校のプールを使用し、7月後半は長電スイミングを借りる予定。

委員：各校へのインストラクターの派遣は。

中村：派遣できるよう当初予算で要求している。

教育長：先生方への研修は。

中村：どのような形式にするかハッキリと決まっていないが計画している。

教育長：水泳授業における交流授業はどうすれば効果的か

委員：違う学校の子同士がペアを組んで、一人がビート板を引っ張るとか、ボールを使ったプールの中でのバスケット等、遊びの要素を加えながら楽しくできる。

委員：昔、須坂小学校のプールに全校が集まって交流したことがある。高学年はそんな形で。

教育長：そのあたりもまた話し合ってもらって、質的に向上しなければ意味がない。

委員：内容については以上で終わりにします。

## 3. お礼のあいさつ

教育長：

- ・提言書をまとめていただき、改めて厚くお礼申し上げます。
- ・かつて水泳は、学校における夏の風物詩だったと思います。
- ・しかし平成、令和と、この環境が大きく変わってきた。
- ・授業日が減ったこと、気候が変わったこと、先生方の多忙化、プールの老朽化、安全確保の技術の習得の必要性が水泳授業に小さくない影響を及ぼしている。
- ・老朽化に伴う小中学校のプールの維持管理については須坂市だけでなく全国的な課題になってきて、それぞれの自治体に対応を迫られている。
- ・4回の検討会では、水泳指導をしてきた先生方と、保護者代表の皆様にご意見をいただいた。また豊丘小学校のプールの老朽化に伴い、高甫小に移動してインストラクターの指導を受けながら授業を行う新たな挑戦をした。
- ・今年の検討に至る経緯については、もう少し早い段階での丁寧な説明が不足していたことを反省している。
- ・ただ児童、保護者、教員からのアンケートには、これからの水泳授業を考えていくうえでとても貴重なヒントがたくさんあった。参加いただいた皆さんに深く感謝したい。
- ・これからの水泳で大切なコンセプトは、健康を保つための水泳、命を守るための水泳、余暇

を楽しむための水泳といった、須坂市としての旗印になるような、こういう水泳をしたいということを考えていくことが大事だと思う。

- これから市教委としての方針を考えていくが、これからも子ども達のプールのあり方を見守っていただければありがたい。
- 長い間、この検討会に参加していただいたことに感謝します。ありがとうございました。